

# 令和5年度全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 葛原 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

#### (1) 教科に関する調査（国語、算数）

##### 教科に関する調査（国語、算数）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

#### (2) 児童質問紙調査

##### 児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

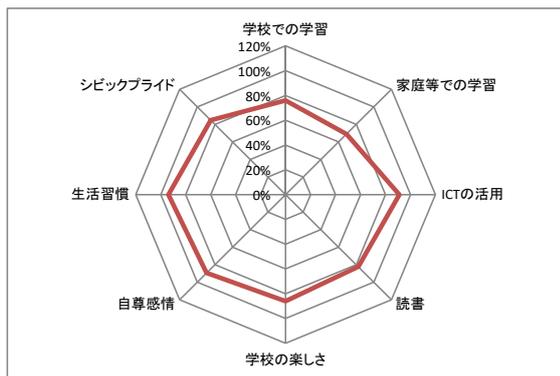
#### (1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.4	59
全国	9.4	67	10.0	63

#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的には全国平均正答率を下回っていた。</li> <li>・資料を読み取り、分かったことを基に自分の考えを整理して書く問題に課題があり、普段から筋道を立てて自分の考えをまとめる学習などを習慣化する必要がある。</li> </ul>	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	原因と結果などの情報の関係について理解する問題の正答率は全国平均より高かった。	
	努力が必要な問題	資料を読み取り、2つの関係について分かったことを基に自分の考えたことをまとめる問題について課題がある。	
算数	全体的な傾向や特徴など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的には全国平均正答率を下回っていた。</li> <li>・数量や図形について思考・判断・表現することに関する問題に課題がある。</li> </ul>	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	2つの量についてまとめた表の変化の特徴を読み取り、答える問題の正答率は全国平均とほぼ同程度だった。	
	努力が必要な問題	図形の意味や性質について理解しているかを考える問題等に課題があった。	

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」との問いに対して約90%の児童生徒が肯定的に回答している。</li> <li>・主体的・対話的で深い学びや個別最適な学びが、児童生徒の自己有用感等に影響を与えている可能性があるため、今後も学校全体で授業改善を進め、児童が「わかった」「楽しかった」と思える授業を行うことが必要である。</li> <li>・「家庭学習や普段の学習においてICTを活用している」と回答した割合が低かった。今後は、個に応じた指導の場面や、外国語の学習、学習の振り返り、課題提出等、様々な場面で活用できるように日常的にタブレットを使うようにする。</li> </ul>

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

・国語については、MIMや音読などを行うことで、書いたり、読んだりする力を高めている。また、全校で「聞く聞くトレーニングタイム」として、コグトレに取り組み、認知力を高めている。  
 ・算数については、朝の学習で、基礎的・基本的な内容の定着を図るために計算プリントなどを活用して学習している。  
 ・1時間の学習の中で、タブレットを活用してペアやグループ、全体で学び合う時間を設定し、伝え合う力を高めている。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

各学年の実態に応じて、宿題に自主学習を取り入れている。中学年以上は自主学習ノートを用意し、継続的に自主学習を行い、家庭学習の充実を図っている。また、各学年で「家庭学習チャレンジハンドブック」を活用し、自主学習の方法を指導している。学期に1回、自主学習コンテストを行い、全校で取組の参考となる自主学習ノートを紹介している。また、タブレットのドリルを活用した日々の宿題や家庭学習に取り組む予定にしている。